

教科目名 校外実習 (Factory Training)

学科名・学年 : 電気電子工学科 4年 (教育プログラム 第1学年 科目)

単位数など : 選択 1単位

担当教員 : クラス担任

| 授業の概要 | | | |
|--|---|---|----------|
| <p>本科目は技術者の仕事を模擬的に現場で体験することであり,このことを通して現在の自分自身の状況や社会から期待される人物像,専門的知識を把握し,将来の自分自身を形作る一助となるよう設けられている.</p> <p>受け入れ機関にとっては自社もしくは自機関のPRとなることでもあるが,実習生を受け入れる主な理由は,学校側の要請に応え,将来の技術者を育てるという社会的責任を認知しているからである.このことを自覚した上で,失礼のないよう自己啓発に努めることが求められている.また,現場では危険な場所もあるので「安全第一」を心がける.</p> | | | |
| 達成目標と評価方法 | | 大分高専目標(D2), JABEE 目標(d2d) | |
| <p>(1) 専門分野での自分の知識を確かめ,生きた知識にできること(報告書,報告会).</p> <p>(2) 社会から期待される人物像を具体的に把握し,その心構えができること(報告書,報告会).</p> <p>(3) 研修先の人々の指導や協力を仰ぎながら自らの分担を見定めて与えられた問題を解決できること(報告書,報告会).</p> | | | |
| 回 | 授 業 項 目 | 内 容 | 理解度の自己点検 |
| 5月 5~7月 夏期休暇 9月 9月 | 1. ガイダンス 2. 実習先の決定 3. 実習 4. 報告書の提出 5. 報告会 | 1. クラス担任よりガイダンスがある. 2. クラス担任を通じて申し込みを行う. 3. 実習期間は1週間以上とする. 4. 実習後,各自「校外実習報告書」をまとめ,クラス担任に提出する. 5. 成果を発表する. | 【理解の度合い】 |
| 履修の詳細は学生便覧の「大分高等専門学校における校外実習,課題学習及び特別学習に関する細則」を参照のこと 実習を希望する学生は「校外実習願」を担任を通して学科主任に提出する 学校側は実習機関に「校外実習証明書」の提出を依頼する 実習を修了した学生は「校外実習報告書」を担任を通して学科主任に提出する | | | 【総合達成度】 |
| 教 科 書 | なし | | |
| 参 考 図 書 | | | |
| 関 連 科 目 | 工学実験, プロジェクト実験 (専攻科), 実務実習(専攻科) | | |
| 総 合 評 価 | 達成目標の(1)~(3)について,本人の校外実習報告書(実習先からの評価書がある場合はこれを含む),報告会の発表を総合して評価する. 総合評価 = 発表会の評点 × 0.6 + 校外実習報告書の評点 × 0.4 総合評価が 60 点以上を合格とする. | | 【総合評価】 点 |